



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月9日

上場会社名 SBSホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2384 URL <https://www.sbs-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 正彦
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 三浦 孝造 (TEL) 03 (6772) 8200
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	222,666	2.7	14,242	70.7	14,349	74.0	8,186	331.9
2022年12月期第2四半期	216,852	7.2	8,343	△40.3	8,248	△40.8	1,895	△75.7

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 9,792百万円(279.0%) 2022年12月期第2四半期 2,583百万円(△72.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	206.13	—
2022年12月期第2四半期	47.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	304,431	98,946	25.2
2022年12月期	296,898	92,172	23.7

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 76,806百万円 2022年12月期 70,381百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	61.00	61.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	457,000	0.3	22,800	4.4	22,300	4.2	12,000	2.3	302.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年12月期 2 Q	39,718,200株	2022年12月期	39,718,200株
② 期末自己株式数	2023年12月期 2 Q	768株	2022年12月期	728株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年12月期 2 Q	39,717,445株	2022年12月期 2 Q	39,717,510株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、2023年8月9日(水)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年1月1日~2023年6月30日)においては、新型コロナウイルス感染症に起因する行動制限が緩和され経済活動の正常化が進んだ一方で、足下では光熱費の高騰、資源価格および生活必需品価格の上昇が続き、景気の先行き不透明感が依然継続する形となりました。

そうしたなか、当社グループはお客様、取引先ならびに従業員の感染防止と安全確保を最優先に取り組みながら、主力の物流事業における3PL、4PLビジネスの獲得と、EC物流の需要拡大に応えるべく新サービス「EC物流お任せくん」を展開するなど、積極的な対応を図ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績については、前述の光熱費高騰に加えて海上コンテナ運賃の下落等が当社の物流事業収益の伸長を妨げる要因となったものの、不動産事業において、前連結会計年度で第4四半期に実施した物流不動産の流動化を当連結会計年度においては第1四半期に実施したこと等により、売上高は前年同四半期より58億13百万円増(+2.7%)の2,226億66百万円、営業利益は同58億98百万円増(+70.7%)の142億42百万円、経常利益は同61億円増(+74.0%)の143億49百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前第2四半期において火災損失46億14百万円を特別損失に計上したことから前年同四半期より大幅に増加し、同62億91百万円増(+331.9%)の81億86百万円となりました。売上高と各利益指標において、第2四半期としては過去最高値を更新しました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

(物流事業)

主力の物流事業では、既存顧客との取引拡大に加え、高い物流機能を求める新規顧客の獲得や、EC物流の需要取り込み等に注力しましたが、企業間物流における海外事業の運賃下落や物量減、家電・半導体等の取扱量減少の影響等により、当第2四半期の物流事業の売上高は前年同四半期より61億7百万円減(△2.9%)の2,055億51百万円、営業利益は同11億42百万円減(△15.0%)の64億96百万円となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、開発事業と賃貸事業で構成されております。開発事業では、グループの3PL、4PL事業を推進するために、顧客の物流ニーズに合った大型倉庫を土地の取得から建設まで一貫して行います。賃貸事業では、グループで保有する倉庫、オフィスビル、レジデンス等から賃貸収益を得ています。当社は、将来の投資に向け物流不動産を流動化し資金を回収しており、流動化に伴い計上する収益は不動産事業に含めております。

当第2四半期累計期間における不動産事業については、第1四半期において横浜金沢物流センター(横浜市)の信託受益権の一部譲渡ならびに東扇島倉庫(神奈川県川崎市)の譲渡を実施したこと等により、売上高は前年同四半期より115億89百万円増(+1133.6%)の126億11百万円、営業利益は同68億45百万円増(+1293.4%)の73億74百万円となりました。

(その他事業)

その他事業の主なものは、人材派遣事業、マーケティング事業、太陽光発電事業及び環境事業です。当第2四半期におけるその他事業の売上高は前年同四半期より3億31百万円増(+7.9%)の45億3百万円、営業利益は同28百万円減(△12.3%)の1億99百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3,044億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ75億33百万円増加しました。これは主に、現預金等の流動資産の増加によるものです。

負債は2,054億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億58百万円増加しました。これは、買掛金等の流動負債が減少した一方で、長期借入金等の固定負債が増加したことによるものです。

純資産は989億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ67億74百万円増加しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界的な金融引き締めの影響や、国際的緊張の高まりなどの地政学的リスクといった、依然として不透明な外部環境が今後の当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。グループ各社同士のシナジー創出によって営業力にさらに磨きをかけ、需要が旺盛なネット通販の取り込み等にも積極的に対応してまいります。

また、物流の現場においては、ロボットなどLT (Logistics Technology) の導入を加速しており、2022年12月に埼玉県越谷市に開設した先端ロボットソリューション検証施設「LTラボ」でLTの導入精度向上と運用の早期安定化を図りながら、新たなEC物流の需要を取り込むべく、汎用性の高いEC物流システムの開発を進めております。

2023年12月期の見通しに関しては、そうした環境変化と当社の取り組みを踏まえたうえで、サマリー情報の「2023年12月期の連結業績予想」とおりといたします。この業績予想を達成すべく、当社グループ一丸となって事業活動と成長戦略に取り組んでまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,673	46,624
受取手形、売掛金及び契約資産	67,075	59,715
棚卸資産	31,207	27,837
その他	15,152	17,858
貸倒引当金	△84	△106
流動資産合計	146,023	151,929
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	69,581	70,095
減価償却累計額及び減損損失累計額	△49,199	△49,978
建物及び構築物（純額）	20,381	20,116
機械装置及び運搬具	34,623	35,340
減価償却累計額及び減損損失累計額	△22,699	△23,559
機械装置及び運搬具（純額）	11,924	11,780
土地	53,264	53,154
リース資産	9,792	10,231
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,166	△6,214
リース資産（純額）	3,626	4,016
建設仮勘定	1,575	2,650
その他	9,281	9,482
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,020	△7,101
その他（純額）	2,261	2,381
有形固定資産合計	93,034	94,100
無形固定資産		
のれん	8,392	8,025
顧客関連資産	20,141	19,760
その他	5,821	6,194
無形固定資産合計	34,355	33,980
投資その他の資産		
投資その他の資産	23,546	24,482
貸倒引当金	△62	△61
投資その他の資産合計	23,484	24,420
固定資産合計	150,874	152,501
資産合計	296,898	304,431

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,823	30,689
電子記録債務	6,512	5,844
短期借入金	28,395	28,330
1年内返済予定の長期借入金	15,230	12,294
未払法人税等	1,859	6,420
賞与引当金	2,969	2,872
その他	23,841	24,976
流動負債合計	114,632	111,427
固定負債		
長期借入金	56,079	58,880
退職給付に係る負債	11,563	11,470
その他	22,450	23,706
固定負債合計	90,093	94,057
負債合計	204,726	205,484
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,920	3,920
資本剰余金	2,651	2,651
利益剰余金	62,787	68,551
自己株式	△0	△1
株主資本合計	69,358	75,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	399	612
為替換算調整勘定	799	1,259
退職給付に係る調整累計額	△176	△187
その他の包括利益累計額合計	1,022	1,684
非支配株主持分	21,791	22,139
純資産合計	92,172	98,946
負債純資産合計	296,898	304,431

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	216,852	222,666
売上原価	194,410	193,542
売上総利益	22,442	29,123
販売費及び一般管理費	14,099	14,881
営業利益	8,343	14,242
営業外収益		
受取利息	15	24
受取配当金	75	110
為替差益	142	233
持分法による投資利益	331	381
その他	261	202
営業外収益合計	827	952
営業外費用		
支払利息	440	429
その他	480	416
営業外費用合計	921	845
経常利益	8,248	14,349
特別利益		
固定資産売却益	2,241	244
その他	7	32
特別利益合計	2,249	277
特別損失		
固定資産除却損	52	74
火災損失	4,614	—
投資有価証券評価損	—	19
関係会社株式評価損	696	—
その他	6	14
特別損失合計	5,370	108
税金等調整前四半期純利益	5,127	14,517
法人税、住民税及び事業税	3,553	6,375
法人税等調整額	△125	△679
法人税等合計	3,428	5,695
四半期純利益	1,699	8,821
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△196	634
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,895	8,186

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,699	8,821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△253	262
為替換算調整勘定	1,109	715
退職給付に係る調整額	△10	16
持分法適用会社に対する持分相当額	40	△23
その他の包括利益合計	884	970
四半期包括利益	2,583	9,792
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,497	8,848
非支配株主に係る四半期包括利益	86	944

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社連結子会社SBSフレック株式会社の物流施設、阿見第二物流センター（所在地：茨城県稲敷郡阿見町星の里6-1）において、2022年6月30日に火災が発生し、2022年7月5日に鎮火しました。また阿見第二物流センターに隣接した第一物流センターの一部も被災しました。

当四半期決算短信提出日現在、未だ原因等については外部関係機関により調査中です。また、荷主の商品の焼失、毀損に対する補償等により追加の損失が生じる可能性があります。現時点ではその影響額を合理的に見積もることは困難であるため、四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	209,158	—	4,008	213,167	—	213,167
その他の収益	2,499	1,022	163	3,685	—	3,685
外部顧客への売上高	211,658	1,022	4,171	216,852	—	216,852
セグメント間の 内部売上高又は振替高	289	49	314	653	△653	—
計	211,947	1,072	4,486	217,506	△653	216,852
セグメント利益	7,639	529	227	8,396	△53	8,343

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△15百万円及び各報告セグメントに配分していない当社に係る損益△38百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	202,913	4,038	4,305	211,256	—	211,256
その他の収益	2,637	8,573	198	11,409	—	11,409
外部顧客への売上高	205,551	12,611	4,503	222,666	—	222,666
セグメント間の 内部売上高又は振替高	366	231	458	1,056	△1,056	—
計	205,917	12,843	4,962	223,722	△1,056	222,666
セグメント利益	6,496	7,374	199	14,071	170	14,242

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△38百万円及び各報告セグメントに配分していない当社に係る損益208百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。